

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場取引所 大

上場会社名 萩原電気株式会社

コード番号 7467 URL <http://www.hagiwara.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岩井 三津雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 福嶋 洋二

TEL 052-931-3511

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	21,838	63.4	434	374.9	416	447.3	227	856.5
24年3月期第1四半期	13,366	△4.7	91	△66.2	76	△70.4	23	△78.4

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 231百万円 (728.4%) 24年3月期第1四半期 27百万円 (△70.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	33.99	—
24年3月期第1四半期	3.55	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	39,527	17,407	44.0
24年3月期	39,811	17,309	43.5

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 17,407百万円 24年3月期 17,309百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	14.00	—	20.00	34.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	45,500	35.5	950	67.1	910	65.6	500	68.8	74.67
通期	87,500	10.9	2,050	16.3	2,000	18.3	1,120	24.5	167.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 有
- ④ 修正再表示： 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P4「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	6,908,000 株	24年3月期	6,908,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	212,278 株	24年3月期	212,278 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	6,695,722 株	24年3月期1Q	6,695,774 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー報告書を受領しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、欧州政府債務危機を背景とした世界経済への影響や円高・株安などの先行き不透明感が払拭できない中、震災からの復興需要や政府のエコカー補助金の効果など内需を中心に緩やかな回復基調で推移してまいりました。

このような環境のもと、当社グループの主要ユーザーである自動車関連企業では、政策面による内需押し上げ策による国内販売需要や北米を始めとする海外販売需要を反映し、自動車生産は堅調に推移してまいりました。

当社グループにおきましては、総力をあげて売上高の伸長に努めるとともに、継続的なコスト削減を推進し、収益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は218億38百万円（前年同四半期比63.4%増）、営業利益は4億34百万円（前年同四半期比374.9%増）、経常利益は4億16百万円（前年同四半期比447.3%増）、四半期純利益は2億27百万円（前年同期比856.5%増）となり、東日本大震災の影響を大きく受けた前年同四半期に対し大幅な増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

(デバイスビジネスユニット事業)

デバイスビジネスユニット事業におきましては、自動車関連企業向けを主力に、マイクロプロセッサ、システムLSI、アナログ・パワー半導体、コンデンサ、リレー、コネクタ等の販売ビジネス、システムLSI設計、ソフトウェア開発等の技術サポートビジネスを展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、新型ハイブリッド車やコンパクト車を始めとする自動車の生産が好調に推移したことにより、デバイスビジネスユニット事業の連結売上高は193億44百万円（前年同四半期比78.3%増）、営業利益は6億55百万円（前年同四半期比200.5%増）となりました。

(ソリューションビジネスユニット事業)

ソリューションビジネスユニット事業におきましては、お客様に対し、自社製品を含めたIT機器の提供やアプリケーション開発を始めとする課題解決型ソリューション提供ビジネス、計測分野やITプラットフォーム基盤構築分野におけるソリューション提供ビジネス、お客様製品に組み込まれる電子機器の販売ビジネス、電子・情報プロダクツの開発・製造ビジネスを展開しております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、企業の設備投資・情報化投資意欲に先行き不透明感から慎重な動きが見られる中、積極的にFA・計測分野やITプラットフォーム基盤構築分野でのソリューション提案営業を展開したものの、ソリューションビジネスユニット事業の連結売上高は24億94百万円（前年同四半期比0.8%減）、営業利益は販売費及び一般管理費の増加もあり6百万円（前年同四半期比92.2%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

資産合計は、前連結会計年度末に比べて2億83百万円減少し395億27百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1億83百万円減少し348億80百万円となりました。これは主に、商品及び製品が3億56百万円増加しましたが、現金及び預金が1億29百万円および受取手形及び売掛金が3億57百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1億円減少し46億47百万円となりました。

(負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べて3億81百万円減少し221億19百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べて9億83百万円減少し184億91百万円となりました。これは主に、短期借入金が8億81百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が10億52百万円および未払法人税等が3億92百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて6億1百万円増加し36億28百万円となりました。これは主に、長期借入金が6億5百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて97百万円増加し174億7百万円となりました。

この結果、自己資本比率は44.0%（前連結会計年度末は43.5%）となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年6月25日に公表しました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,338	3,208
受取手形及び売掛金	22,278	21,921
有価証券	100	100
商品及び製品	8,446	8,803
仕掛品	253	263
原材料及び貯蔵品	119	138
その他	528	445
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	35,063	34,880
固定資産		
有形固定資産	2,533	2,517
無形固定資産	613	563
投資その他の資産		
その他	1,613	1,577
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	1,601	1,566
固定資産合計	4,748	4,647
資産合計	39,811	39,527
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,855	10,802
短期借入金	5,090	5,971
1年内返済予定の長期借入金	799	719
未払法人税等	460	68
受注損失引当金	—	4
その他	1,268	924
流動負債合計	19,475	18,491
固定負債		
長期借入金	2,275	2,880
退職給付引当金	374	368
役員退職慰労引当金	324	330
その他	53	48
固定負債合計	3,026	3,628
負債合計	22,501	22,119

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,439	2,439
資本剰余金	2,884	2,884
利益剰余金	12,266	12,359
自己株式	△209	△209
株主資本合計	17,380	17,473
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	82	50
為替換算調整勘定	△153	△117
その他の包括利益累計額合計	△70	△66
純資産合計	17,309	17,407
負債純資産合計	39,811	39,527

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	13,366	21,838
売上原価	12,090	19,981
売上総利益	1,275	1,857
販売費及び一般管理費	1,184	1,422
営業利益	91	434
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	5	5
受取補償金	1	16
その他	7	5
営業外収益合計	15	27
営業外費用		
支払利息	16	13
為替差損	7	18
売上債権売却損	5	11
その他	1	1
営業外費用合計	30	45
経常利益	76	416
特別利益		
固定資産売却益	0	—
特別利益合計	0	—
特別損失		
固定資産処分損	0	0
投資有価証券評価損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	74	415
法人税等	50	188
少数株主損益調整前四半期純利益	23	227
四半期純利益	23	227

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	23	227
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5	△31
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	9	36
その他の包括利益合計	4	4
四半期包括利益	27	231
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	27	231
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス ビジネス ユニット事業	ソリューション ビジネス ユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,851	2,515	13,366	—	13,366
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	—	18	△18	—
計	10,870	2,515	13,385	△18	13,366
セグメント利益	218	77	296	△204	91

(注) 1 セグメント利益の調整額△204は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	デバイス ビジネス ユニット事業	ソリューション ビジネス ユニット事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	19,344	2,494	21,838	—	21,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	2	28	△28	—
計	19,370	2,496	21,867	△28	21,838
セグメント利益	655	6	662	△228	434

(注) 1 セグメント利益の調整額△228は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。